

ミャンマー南東部 水害被災者支援事業 完了報告書



配布された制服を着た子どもたち(カレン州ピヤトーンフ・サブタウンシップ)

 公益社団法人
シヤンティ国際ボランティア会
私たちは向き合います。苦難の中にいる人々と世界に。

〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2・3 階

Tel: (03) 5360-1233, (03)-6457-4586 Fax: (03) 5360-1220

緊急救援室 木村万里子、長沢有華

1. 事業期間： 2013年10月1日（火）～11月13日（水）

2. 被害状況概要：

7月下旬および8月も続いた激しい豪雨により、カレン州やモン州などミャンマー南東部で家屋浸水など大きな被害が発生しました。現地ではこの20年で最悪の水害被害と言われていました（UNOCHA）。人的被害は小さいものの（死者6名）、一時期は7万人を超える人が80近くの一時的避難キャンプに逃れていました。避難していた人々もしばらくして故郷に戻りましたが、浸水し破損した家屋での生活再建も困難な状況でした。農業で生計をたてている人々が多いこの地域では、36,000エーカー以上の農地が浸水被害を受け（WFP）、中長期的な食糧不足も懸念事項でした。また、カレン州とモン州をあわせて420校近くに上る学校が被害を受けて一時的に閉鎖されてしまいました。しばらくして学校は再開されたものの、制服や学用品を無くしてしまった子どもたちが水害前と同じように学ぶことは困難な状況でした。

また、8月中旬には二度目の大雨に見舞われ、被害が拡大した地域もありました。

例年の大雨とは異なる洪水被害

カレン州は毎年モンスーンの影響により大雨に見舞われますが、避難するほどの被害はなく、今回のような洪水被害は珍しいとのこと。主要道路の寸断、インフラ被害により、キャンプへの十分な物資配布が行われず避難者は不安な生活を送りました。

徐々に水位が下がり自宅へ帰るも、家屋は崩壊もしくは浸水した状態のまま、生活に支障をきたしている住民も多くいました。8月中旬に二度目の大雨が発生し、いくつかの臨時避難キャンプが再開し、再び避難せざるを得ない住民も多くいました。



道路まで水が溢れだし腰までの高さ

物資配布・教育支援へのニーズ

国連機関や国際NGOなど洪水発生以降、衣類や食料品などの生活物資配布などを行っていましたが、上記のように度重なる洪水や、被災地域が広域でありアクセスが難しいことから、被災から一ヶ月以上が経過するなかでも支援から取り残されている地域があることがわかりました。

そこで、シャンティは現地NGO、Karen Baptist Convention (KBC) と協働し、被害が大きいにも関わらずアクセスが困難なことから、現在も十分な支援が行き届いていないカレン州南部の村への緊急支援物資配布を行うことにしました。KBCは、2008年に発生したサイクロン・ナルギスでも共に支援活動を行った団体です。



大雨により浸水した学校

3. 事業概要:

実施目的	特に被害が大きくアクセスが困難で取り残されている地域の被災者に対して、生活復旧及び学習支援を行うこと	
事業対象地	ミャンマー南東部カレン州内の 18 村 ① チャインサーチー・タウンシップ内 4 村 ② ピアトーンフ・サブタウンシップ内 6 村 ③ チャイドン・サブタウンシップ内 8 村	
実施概要	被災者の生活復旧及び小学生の学習支援のために必要な緊急物資配布を行う。 ①衛生環境改善のための物資配布 ・砂ろ過器：895 世帯 ・トイレ設備修復のための物資（パイプ、防水パン、囲い用防水シート一式）：260 世帯 ②小学生向け学用品の配布：800 人分 ・制服、学生かばん、学用品セット（ノート、エンピツ、消しゴム、定規）	
	活動内容	裨益者
	1. 水害によって被害を受けた世帯に対し、衛生面の改善に必要な物資を提供する	895 世帯（約 4,475 人）
	2. 水害によって被害を受けた世帯の子どもたちに対し、学校に通うために必要な学習支援物資を提供する	800 人

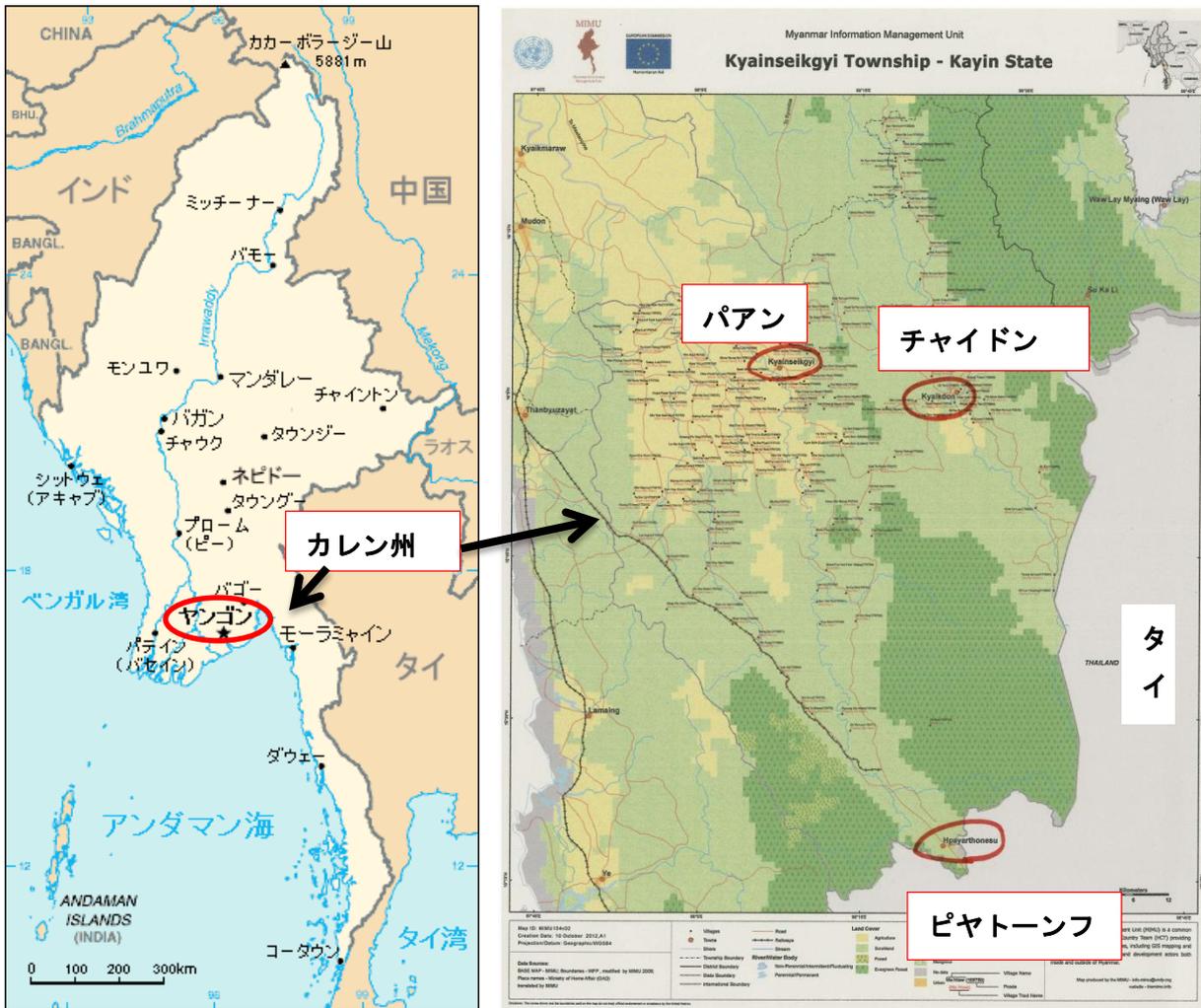
	物資内容	配布世帯数	配布児童数	備考
衛生	砂ろ過器	886		一部追加でモニタリング時に配布予定
	トイレ備品	260		水害でトイレが流された世帯のみ
学用品	制服		800	男女別。1 人 3 組で 1 セット
	通学用かばん		800	布製のもの（カレンバック）
	文房具セット		800	1 人あたりノート 12 冊、鉛筆 6 本

4. 現地カウンターパート（KBC）との連携について

現地連携 NGO: KBC (Karen Baptist Convention)

Karen Baptist Convention (KBC) は、1913 年に設立されたミャンマー国内にある全カレン・バプテスト教会の連合体であり、全国に 20 の支部を持っています。教会も持つ包括的ミッションに基づき、社会福祉、開発、人材育成、青少年教育、伝統文化発展など多岐にわたる活動を行っている団体です。サイクロンや洪水などの災害時には平常のネットワークを活かして、迅速な支援活動を行っており、2008 年に発生したサイクロン・ナルギスの際にシャンティは KBC と連携し、孤児院の建設、被害にあった保育所の再建、それらの先生に対する読み聞かせの研修などの教育支援を実施した実績があります。

5. 事業地地図



6. 写真報告：

●支援物資の内容及び配布先の調整

アジア地域ディレクター八木澤及び緊急救援室の木村・長沢がヤンゴン入りし、現地協働団体である Karen Baptist Convention (KBC) とニーズ調査をもとに支援物資の内容を決定しました。

洪水により飲み水が汚染されてしまったため水をきれいにするための砂ろ過器を、トイレが破壊されてしまった家庭にはトイレ設備を改善する物資を、そして制服や学生かばんを含む学習用品が流されてしまった子どもたちには学習支援物資の配布を行うことにしました。



KBCスタッフと会議

事業内容・担当者・対象村情報などについて確認しました

●配布物資の調達

シャンティのスタッフはKBCスタッフと共に事業地カレン州の隣、多くの問屋街やマーケットが集まるモン州モウラマインへ移動し、物資調達を行いました。



【写真：左上】

通学用カバンの値段交渉をする KBC スタッフ

【写真：右上】

トイレ修復用のシートを吟味する KBC スタッフ

【写真：左下】

村人たちに配布した砂ろ過器

●被災したカレン州南部の村での物資配布およびモニタリング

KBC のスタッフが被災したチェーンサー、チャイドン、ピヤトーンフのそれぞれに分かれ、物資配布を行いました。通常でもアクセスが困難な地域のためボートも駆使し、半日～1日かけて移動した地域もありました。配布にあたっては村の人々にも手伝ってもらい、一つ一つ手渡して行いました。被災したチェーンサー、チャイドン、ピヤトーンフの3つの地域で、合計895世帯に飲み水用の砂ろ過器、260世帯にトイレ排水用パイプ・防水パン・防水シート、800人の子どもたちに制服・学生かばん・文房具を配布しました。その後も、使用状況を確認しました。



ボートから配布物資を下している様子



村まではバイクで川の中を渡るなど、移動も大変です



【写真：左上（ワッタコーン村）】

トイレ備品の配布（上からプラスチック製便器、パイプ、囲い用の防水シート）。川沿いに住むほとんどの家がトイレも流されてしまいました。

【写真：右上（メークラワー村）】

村人に砂ろ過器の使い方を説明するKBCスタッフ（左）

【写真：右（カインドーン村）】

村長さんから文房具などを受け取る女兒生徒。学校の制服は「白い上着と緑色のパンツ／スカート」と決められていますが、洪水で流されてしまった子どもがほとんどでした。



チャイドンでのモニタリング。おそろいの制服に嬉しそうな子どもたち



初めて使う砂ろ過器、川の水を入れて飲んでいきます
（チャインセーチーの村）

◆現地からの感謝の声◆



ご支援ありがとうございます。この村はまだまだ水害の被災から復興するのは難しい状況です。ご支援いただいた全ての人たちに感謝のお祈りをしたいと思います。

ノー・ローズマリー・トゥーさん(11歳)



家が浸水しました。家財は無事でしたが、子どもの制服がなく、申し訳なく思っていました。今回制服のご支援をいただいたことで学校へ行かせることができ、子どもも自信を取り戻しました。本当にありがとうございます。

ノウ・ケー・レイさん(ナーザリー村)

7. 事業収支

I. 収入の部

区分	収入見込 (円)
ジャパン・プラットフォーム (JPF) からの助成金	7,147,905
一般募金	20,000
(1) 収入合計	7,167,905

II. 支出の部

活動名 (項目)	収入見込 (円)
① 衛生管理物資の配布	2,614,381
② 学習支援物資の配布	1,042,474
③ 事業共通経費 (輸送費、梱包費など)	401,598
④ 間接事業費 (スタッフ渡航費、人件費など)	2,408,454
事業費合計	6,466,907
外部監査費用	350,000
(2) 支出合計	6,816,907

III. 収支差額 ※助成金の返還金にあてられる

(3) 収支差額	350,998
-----------------	----------------